

IV-② 公立小学校との合同教員研修の実施モデル(日常の貢献)

近隣の市町の希望する公立小学校と合同教員研修をH30年度より実施している。これは15時(6校時)より本校の教員の授業を共に参観し、その後、合同で討議する形態で行っている。

地域の公立校では少子化による学校小規模化に伴い、一校内での授業研究が活性化しないという課題がある。そこで、本校の使命である公立校への授業モデル、討議モデルの提供の一つの方法として始めた。

4月に本校の研究授業及び討議会の年間予定と案内状を配布し、希望校とともに研修を深めている。H30年度は、7/2に綾川町立羽床小学校と、7/4に坂出市立府中小学校と実施した。



①本校教員の研究授業を共に参観



②付箋を用いて視点ごとに協議



③全体で効果と課題に対する代案の共有



④黑板アートでウエルカム(得意とする教員作)

羽床小校長の声

- ・全職員で参加して、附属の討議の仕方を少し簡単にしてみたい。司会が技術を要するので板書整理係を付け足した。付箋を用いてKJ法式で進める附属の討議は視点が明確になるとともに意見が言いやすくなるメリットを感じている。これまであまり意見を言わない教員が意欲的に語るようになった。
- ・これまで毎年の研究発表会の授業公開だけであったが、研究発表会を2年に1度にして、日常の研究授業と討議を公開してくれるのは附属の先生がどのように授業づくりや学級集団づくりを進めているのか研究を進める過程を知ることができ大賛成である。

公立校教諭の声

- ・附属の先生のわかりやすい発問や構造化された板書、ワークシートと班学習で使う教材など、授業の基礎基本を大切にしていることが勉強になった。
- ・討議の意見や進め方が研修になった。特に、印象で語らず、視点に沿って、一人一人の子供の様相から議論しているところを取り入れたい。

本校研究部長の声

- ・本校の研究理論の説明が足りないところや簡略化・焦点化が必要なところがよく分かった。公立校のニーズをキャッチしながら2年間じっくりと研究を進められるのでありがたい。
- ・授業者も公立校の先生が日常の研究授業・討議に参加してくれることで、一層モチベーションが高まっている。

授業・討議と特別支援研修のサンドウィッチ型合同研修モデル

令和2年2月17日、三豊市立桑山小学校全教員13名、教職大学院生1名、大学院准教授1名、高知県より1名、近隣の公立校より3名、附属坂出中学校より1名、計20名が本校教員と合同研修会を行った。

①5校時(13:50~14:35)に2年国語科の研究授業を参観、②6校時(14:45~15:50)に本校坂井校長による通常学級における合理的配慮についての研修、③16:00~17:30合同授業討議の3本立てで行った。参加した公立校教員からは、「研究授業・討議に加え、坂井校長から、日常悩んでいる合理的配慮について助言をいただいたり、360°カメラに収めた附属の授業をもとに授業レベルで具体的な配慮について教えていただいたりして、大変、役に立つ」と好評であった。また、一貫教育を進めている附属坂出中学校教諭からは、「低学年での言葉を大切にされた指導が見られ、中学校へ素地段階を目の当たりにできてよかった。」と今後益々教科チームで一貫教育を進めていく必要性を語られた。

①1年国語、研究授業参観の様子



①本校教員の研究授業を共に参観



②板書などの視覚支援を学ぶ

②坂井校長による特別支援研修の様子



①日常の悩みに応えて



②360°カメラによる授業における合理的配慮

③合同研究討議の様子



①互いに意見を述べ合う授業討議



②授業者と学んだことを共有

④参加者の声(一部)

<公開授業を見て、活用しようと思ったこと>

- ・子供の発言に理由を問い返すことで自分を振り返っている様子が見られた。子供同士の話合いでも、なぜ、そう思うの？と質問する場面が見られ、普段からの積み上げが感じられた。
- ・どの子もできた。わかったという授業が一番だとわかった。
- ・付箋やシールの活用で視覚化されていたり、頭のテレビで想像させたり、分かりやすくする工夫がたくさんあった。
- ・学習の流れが分かりやすい配慮や板書の構造化など参考になることがたくさんあった。
- ・2年生でも、言葉を大切にされた指導がされていて、中学校へもつながると感じた。
- ・幼稚園さんへの読み聞かせという目的意識がよかった。

<研究討議に参加して学んだこと>

- ・子供の具体的な姿で討議がされていた。また、代案が多く出てすばらしい。
- ・一人一人が短く意見を言い、長々と言わない。決まった人が多く言うのではなく、関連した意見でつないでいる。
- ・附属の先生と公立の先生が交じって一緒に討議ができ双方に有効であった。
- ・UDの視点からの討議もよいと思う。
- ・討議内容を板書係の先生が、黒板に整理して書いていたこと。
- ・活発な意見で刺激になった。もっと勉強したくなった。
- ・一人一人の見とりシートが細かくて様子がよく分かる。